

怒り

その海を攪拌する者が
やがては我々を逃亡へと駆り立てるのだろう
おお、波間に隠れ棲むその者こそ

押し寄せる mass-water
溺れることの真の意味を思い知らせた次の瞬間
それを呑み込み、抹消する mass

静かに準備がされてゆく
じりじりと蓄えられてゆく
お前は何という大きな時間を待つのか

我々を苛々させる気の長さで
氷が溶かされてゆく
だから、我々はその加速に気付かない

それどころか
我々自身がスピードを増してゆく
どこまでも限りなく

じりじりと照りつける太陽が
新型オープンのように水を怒らせ
大気を灼きはじめている

(2005.4.3)